

# 第4回 福八子どもとゆく夏合宿無事終了



応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

浜通り子ども16名  
中通り子ども17名

2015年7月29日から8月3日  
2015年8月5日から8月10日

浜通り（南相馬・相馬・いわき方面）の皆さん  
中通り（郡山方面）の皆さん

## 第4回 福八子どもキャンププロジェクトの報告と御礼

福八子どもとゆく合宿無事終了!! 福島キッズの参加者総勢 33名、子どもたちはのびのびと島の自然と文化を味わいました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。この形ではフィナーレとなる第5回夏合宿の準備がすでにスタートしています。どうぞ皆さま、今年の応援もよろしくお願ひ申し上げます。そして、来年以降に向けて、「福島キッズ! 都立八丈高校への進学!! しようよ」計画も同時進行中。応援してくださる皆さま、ぜひ、こちらへのアイデアもお寄せください。



2016度の開催は

前半グループ7月27日～8月1日  
後半グループ8月3日～8月8日になります。

福島～八丈島  
明日に架ける橋



～ Bridge over Troubled Water

3・11東日本大震災は、この国の姿をすっかり変えてしまったと思う。あるいは、急速に変わりつつあったこの国に貯め込まれてきた歪みを、震災があらわにしてしまったと言ってもよいでしょう。原発事故は、それまでそこに普通に暮らしてきた人びとに、人間には選択不可能な問題をつきつけました。それは、ありうるかもしれない放射能による健康被害に目をつむって、今暮らしている地域社会の絆を守りこの地に留まる

か、もしかしたらなくて済むかもしれない健康被害を避けるために、これまで築き上げてきた生活のすべてを捨てるかという選択です。後者を選んだ人びとは今も慣れぬ土地での生活に対する心労を抱え、残った人びとは自分たちの土地の復興を信じ励みながらも、放射能という目に見えないまま生活のすべてに忍び込んでくる妖怪に対する不安を押し殺して過ごすことを強いられています。

大人であれば、この惨事、不条理を耐えていくことや乗り越えていくこともできるでしょう。自然災害と違って、原発事故という惨事を招いたことには、私たち皆がいくぶんかずつの責任を負っているのです。しかし、このような社会の矛盾にさらされ、放射能の影響をもっとも鋭敏に長く被っていく子どもらに、その責任を負わせることはできません。それにもかかわらず、すでに福島では100人を越える子どもが甲状腺癌と診断され手術を受けています。こうした状況のもとに暮らす子どもたちには、放射能の影響を心配せずにのびのびと過ごせる環境を、この社会の責任として提供することが必要でしょう。しかし、このような「保養」はすべて民間に任せられ、その数は少なく、継続して行うことが今も困難です。

私たち、2012年の夏から毎年この「福八子どもキャンププロジェクト」で、福島と八丈島の精神保健関係者の協力によって続けてきました。大人たちの不安と葛藤、さまざまに不合理的な分断、限られた遊び場、行動の制限の中で暮らす福島の子らに、思いきり自然に触れて遊んでもらってきました。福島美しく豊かな自然、山々や海が、放射能に汚染されて人間が近づけない土地になってしまっています。八丈島にきて初めて海で泳ぐ子もいて、すぐに潜って餌で魚を突くようになりました。無人島に渡って海亀やイルカを観る。深山の滝壺に飛び込む。そんな子どもらしい自然な活動を、ここで取り戻してきました。

5年を予定していたプロジェクトも、昨年ですでに4年目を終えました。子どもらは、ゲームもディズニーランドもない八丈島に「来年も必ず来る」と言ってくれます。島の人の歓迎もさることながら、普段の生活のストレスを無意識にも感じ取っているのかもしれない。3年前に小学生であった子が中学生になり、島に通い続けるうちに、高校は八丈島に進学したいと強く希望する子らもあらわれました。今後は、この子らの希望にどう応えていくかも、福島のおとなと島の人びとが一体となって考えていきます。何よりも、この国ではすでに風化しつつある未曾有の災害を忘れず、君たちのことを気に掛けている人がここにいる、というそのことを伝えることが、この子らにとっては最大の支援ではないだろうかと思うのです。

こうして、この試みは震災支援の一環というだけではなく、無情な権力に対する人びとの抵抗、空洞化していく私たちの社会を再建していく試みへと発展していくのです。 高木俊介

## 福島のみなさん、今年もおじゃりやれ（いらっしやい）

今までご支援ご協力くださった皆さま、2016年も応援よろしくお願ひいたします。

連絡先： 福八子どもキャンププロジェクト事務局（NPO法人 八丈島ロベの会内）担当・村上 文江  
〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷 4436-35 電話 090-2490-6138（村上・携帯）FAX 04996-9-5817 MAIL:nobi.nasakejima@gmail.com

代表 高木俊介（ACT-K 精神科医）  
副代表 西みよ子（NPO法人 あさがお・福島浜通り）  
熊田芳江（社会福祉法人 こころん・福島中通り）

2015年度決算報告	
支出	
現地活動費内訳	
活動費	385,513円
食費	403,868円
備品・消耗品	52,295円
車両・燃料	487,824円
ガス代	13,815円
整備費	140,000円
支出小計	1,483,315円
福八2015会計報告	
事前活動費	177,761円
福八現地費用	1,483,315円
参加児童旅費	813,307円
支出計	2,474,383円
収入	
口座繰越金	2,382,864円
今年度寄付金等	1,966,709円
収入計	4,349,573円
収支	
総支出	2,474,383円
総収入	4,350,570円
差引収支	1,876,187円